



2020年2月14日

各位

会社名 株式会社フォーサイド  
代表者名 代表取締役 根津 孝規  
(JASDAQ・コード2330)  
問合せ先 常務取締役 飯田 潔  
電 話 03-6262-1056

### 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年7月5日に公表いたしました2019年12月期通期（2019年1月1日～2019年12月31日）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年12月期通期連結業績予想と実績値の差異（2019年1月1日～2019年12月31日）

	連 結 営 業 収 益	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,588	百万円 54	百万円 60	百万円 △52	円 銭 △1.66
実績値（B）	4,040	△77	△47	△156	△4.95
（B－A）	△548	△131	△107	△104	
増減率	△11.9%	－	－	－	
（ご参考）前期連結実績 （2018年12月期）	3,920	△210	△201	△592	△19.13

#### 2. 差異の理由

当連結会計年度における業績は、主力事業であるプライズ事業での既存取引先の受注件数及び不動産関連事業の新規契約件数は堅調に推移いたしました。一方、2019年7月5日付け「連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、プライズ事業での販路拡大による新たな販売先の売上を見込んでおりましたが、販売先からの要望のもと、品質のさらなる向上を目指す過程において商品開発に時間を要し、今期中の売上計上にいたらなかったこと、投資銀行事業での一部案件において、相手先との条件交渉に時間を要し、2020年度以降にずれこんだこと等から、連結営業収益は前回発表時の予想を下回りました。

また、上記連結営業収益の減少に加え、マスターライセンス事業において、新たなグループシナジーの創出に向けた自社IPの取得コストが増加したこと等から、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益においても前回発表時の予想を下回ることとなりました。

以上